



夏の川奈港／下村俊宏・画

CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

2023～2024年度 R.I.会長 ゴードン R.マッキナリー
第2620地区ガバナー 中村 皇 積

2024.5.24 第2123回例会 No.2123

会長挨拶

日本中の話題になった川勝知事。あのゴタゴタ辞職を受けての知事選がいよいよ4日後になりました。6人の候補者が出ていますが、実質的に大村候補と鈴木候補の一騎打ちの選挙となっています。今回の選挙は大きく分けて浜松を中心とした西部地区対中・東部地区の対決といった構図で語られています。それにスズキ自動車の会長の影響力やら、力の弱まっている自民党の影響力などが絡み合って予想が付きにくくなっています。因みに、前回令和3年の川勝知事と岩井知事が戦った選挙の数値を調べてみました。投票総数159万。その中で浜松市が35万、静岡市が29万、その他の市町村が95万、その中で東部と言われる地区的投票数が49万。この数字を見た限りでは西部と東・中部の投票数はだいたい互角の数字になっています。東名高速を走るとよくわかりますが、東西に長い静岡県。昔は遠州・駿河・伊豆に分かれていましたから、今の東・中・西の区分けとほとんど同じですね。ただ、それぞれの地域の人柄は次の言葉で表現されます。「遠州泥棒・駿河乞食・伊豆の飢え死に」悲しいかな我々伊豆の人々は飢え死んでしまうようです。こうした異なる地域性を抱えた静岡県ですから、トップがすべての地区的の要求に平等に答えるというのは難しく、どうしても配分の差が生じてしまうのは分かるような気がします。



Ito West R.C. Weekly

R.I.第2620地区 静岡第1グループ



伊東西

会長 小川 久 副会長 小川 嘉洋
幹事 川勝又 隆男

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル2F
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル内
TEL・FAX 0557-37-0036
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

出席報告

	会員数	出席規定該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	46	45	37	8		82.22%

そんな中で、自分の地域が少しでも有利になってほしいというのが人の本性。さて皆さんはどういう風に投票されるのでしょうか？

本日の欠席者

遠藤英夫君 飯田法弘君 稲木孝彦君 増田真啓君
野村玲三君 佐藤 周君 佐藤広一君 山本佳洋君

ゲスト

川島康宏さん 株伊豆柏屋
斎藤謙一さん 株ミウェル：医療機器販売

会員慶事

○会員誕生日おめでとう

立木 泰君 5月
葛城武典君 5月
飯田法弘君 5月



○結婚記念日おめでとう

下村俊宏君 5月
稻木孝彦君 5月
葛城武典君 5月
石井幸弘君 5月
安西光枝君 5月



○配偶者誕生日おめでとう

佐藤 周君 裕子様 5月
下村俊宏君 文 様 5月
村上恵宏君 玲子様 5月
磯村英一君 順子様 5月
野村玲三君 順子様 5月
鈴木基支君 晶子様 5月

地球にやさしい再生紙を使用致しております

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

幹事報告

- 5月17日にせせらぎ三島35周年記念例会に行ってきました。おもてなし、特にバイオリンの生演奏が素晴らしかったです。
- 例会終了後、この会場で財団委員会主催「ティーパーティー」が開催されます。梶原委員長よろしくお願ひします。
- 次週例会の卓話者は、佐藤広一（ヒロカズ）さんです。

委員会報告

○国際奉仕委員会（東端委員長）

ミャンマーの募金が目標に達しておりませんので、本日も募金箱を用意いたしましたので、ご協力お願ひいたします。

○財団委員会（梶原委員長）

本日例会後、財団サロンがあります。財団の寄付の説明です宜しくお願ひ致します。

○ゴルフ部より（牧野部長）

先日行われた、クラブコンペの成績です。優勝は田坂和央君。準優勝は葛城武典君。三位は小川嘉洋君。スコアは発表を控えさせてもらいます。

スマイルボックス

堀口 武彦君 「祐親まつり」盛大の内に終了しました。大変ありがとうございます。日曜の舞台が会館に変更、その為、東京に帰ってしまうお客様も居てびっくりしました。水上舞台を見たい人が多勢います。

土屋順史君・葛城武典君

本日、ゲストで株伊豆柏屋さんの川島さんと、株ミウェルさんの斎藤さんです。よろしくお願ひ致します。

牧野 隆広君 田坂さん優勝おめでとうございます。馬の取り方もみごとです。準優勝葛城さん、まだまだですね。皆様次回優勝めざしてください。

原 幸男君 田坂さんゴルフ優勝おめでとうございます。ハンデ36、ずい分うまくなりましたね。

田坂和央君・葛城武典君・小川嘉洋君馬と

委員会フォーラム

職業奉仕フォーラム「職業奉仕とは」

下村俊宏委員長

5月12日の日曜日1時から4時まで奉仕活動セミナーが

ZOOMで開催されました。その中で卓話者として、小林総一郎P Gが紹介され「ロータリーの職業奉仕について」というタイトルでお話をされました。今日はその内容について少し触れながら私なりの解釈を述べていきたいと思います。そもそもロータリーに関する原文は英語で書かれていますので、文化や深層心理の面からも日本語訳とニュアンスが違うところがあります。例えば「service」を単に「奉仕」と訳していますが、誰かのために何かを行うこと、他者の助けになること、あるいは無形の財や価値あるいは労役などを提供するという意味です。しかし古来より日本人に備わっていた神道的、仏教的、儒教的教養にロータリーのいう基本理念である「奉仕の理想」がうまく適合したのではないかと思われます。そしてロータリーにおける最大の受益者は自分自身であると結論づけています。人に何かをすれば、いずれ自分に回ってくるということです。

小林P Gがロータリーの基本理念としてぜひ覚えてほしい「奉仕の理想」に関して、次のようにまとめております。まず超我の奉仕（自利と多利の調和=心の葛藤の克服）、そして最もよく奉仕するもの最も多く報われる（奉仕は金銭的な成功だけでなく、豊かな自尊心と、他者からの尊敬、社会に貢献した満足感を得る道）、日本の職業奉仕（「奉仕の理想」の実践。中でも職業上の顕著な取り組みを職業奉仕という）、そして決議23-34（ロータリーとは何かを解き明かしたドキュメント。不易、根幹ともいうべきロータリーの中核思想。理論より実践）。加えて他者への思いやり、人にしてもらいたいと思うことはあなたも人にしないで、です。卓話を要約すると、私たちロータリアンは職業を通じて社会に貢献しなければならないということです。

ポール・ハリスが友人3人とロータリーをつくったのが1905年です。このころの企業家は富と勢力の追及において政府から何の制約を受けていなかったので、利益が最優先され野放しの資本主義がはびこっていました。そんな中ポールは温かい交友を楽しむため、親しい友人を作りたいと願っていました。また同業者間の親睦の難しさを痛感していましたので、一業種一人と会員を制限したのが職業分類制度の始まりでした。このことが原点となり今では会員数120万人以上、クラブ数3万以上の世界的組織になりました。そして現在の職業奉仕は倫理的商取引（職業倫理）から始まりました。

1930年代の大恐慌期にハーバートJ. テーラーが四つのテストを創案しました。これは商取引の公正さを測る尺度で、以後多くのロータリアンがこのテストを活用してきました。そして1989年の規定審議会でロータリアンの職業宣言を採択するに至りました。

（担当 石井幸弘）